

政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) **調査研究** 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

公立病院の経営形態の在り方について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

半田市立半田病院は、国の示す新公立病院改革ガイドラインに従い、現在地方公営企業法一部適応(一部適)から全部適応(全適)または地方独立行政法人(独法)への移行を示している。半田病院としてどのような経営形態が適当か判断するため、これまでに経営形態を移行または協議した病院を視察する。2つの病院を救急病院と療養病院に再編した病院、独法でなく、あえて全適へ移行した病院、全適で累積欠損がなく5年以上黒字経営の病院を視察する予定。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

以下のことを学んだ

○酒田市病院機構日本海総合病院(山形県酒田市)

一般病床642床、感染症4床、27診療科。平成20年4月に酒田医療センターと再編し山形県酒田市病院機構とし、独法(非公務員型)に移行。

病院再編の背景は、市立坂田病院の築40年経過建替え問題と、県立日本海病院のH5開院依頼赤字であった。H17市立坂田病院改築外部委員会で再編統合の報告、H18山形県外部監査で統合再編の報告があった。H18山形県知事、酒田市長統合再編に合意しH19有識者委員会にて設立時期H20.4で一般型独法が望ましいとした。

再編時と比較して営業収益は4,785百万円増、経常収支は△480百万円が608百万円となり、職員数は1,320人から1,782人(412名増)だが、給与費はほぼ横ばいのまま維持されている。一般形独法だから可能な、業績手当の支給を行い、やりがいを促す。

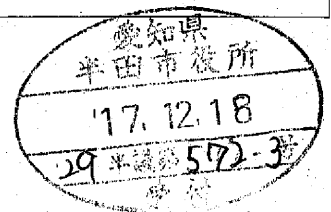
○山形市立病院済生館(山形市)

一般病床528床、27診療科。平成26年4月に全適へ移行。

H24済生館運営協議会(座長市長)市長の意向で全適への移行へ方向性を出した。全適の理由は、市長部局とはなれ、職員採用などスピード感をもって対応可能となる。独法は、当時まだ実績が少なく不安があった。不採算の診療科が閉鎖され、公的病院の役割が果たせない。

(職員最適化計画で職員削減の方向の中、医師看護師不足の病院で看護師のみ増加は市長部局として難しい。(本音)) H23に累積なくし、20億積み立てある。繰入金9億数千万(3条・4条合計)

確認欄	議長	管理委員長



○船橋市立医療センター（千葉県船橋市）

病床449床 平成21年4月に全適へ移行。平成29年6月に自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞。全適理由は、職員採用等スピード感もって対応できるため。また、一部適と同様の職員の身分を継続。独法にしない理由、事務職員の確保がづらいこと、組合との交渉が困難である。現在看護師不足はない。繰入金、約20億（3条15億4条5億）75億の手持ち資金がある。H23～黒字転換したが職員増影響でH27、H28は赤字のため、診療部長市内のクリニックへ営業活動している。

今回、地方公営企業法一部適応から全部適応また、地方独立行政法人（一般形）へ移行したことによるそれぞれメリットやデメリットがよく分かった。また、今後、半田市立半田病院がどのような経営形態が適しているか、参考になり目的は達成できたと思う。しかし、あといくつかの経営形態移行した事例を参考にしたい。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

国のガイドラインでも示されているように、病院の経営形態の移行について可能な限り早く協議機関を設け、新病院建設の開院にあわせて新たな経営形態へ移行することを提言します。また、経営形態については、地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化（非公務員型）、指定管理者制度の導入、民間譲渡であるが、民間病院との経営統合、効率化のための再編等さらに広い視点で検討し、半田病院として適した経営形態を調査すること。今回視察した3か所と、前回視察した三重県立総合医療センター、下関市立市民病院、市立吹田市民病院を参考にすると、地方独立行政法人への移行が望ましいと考えます。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

--

○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書NO
11月7日	6:09～6:40	板山ー常滑駅 常滑駅ーセントレア	運賃	600	1
	7:35～8:35	セントレアー新潟空港 (ANA1811)	運賃	15,210	2
	9:10～9:35	新潟空港ー新潟駅前 (高速連絡バス)	運賃	410	3
	10:58～13:05	新潟ー酒田 2番線 (JR特急いなほ)	運賃 指定席	3,020 2,050	4
	13:10～13:18	酒田ー日本海総合病院 タクシー 4.5km 13分	運賃	439 (1,750円÷4人)	5

確認欄	議長	管理委員長

	13:30~15:30	視察 酒田市病院機構 日本海総合病院 (伊藤様)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	15:30~15:38	日本海総合病院一酒田 タクシー4.5km 13分	運賃	460 (1,840円÷4人)	7
	16:44~17:52	酒田一新庄 (JR羽越本線) 新庄行	運賃	8,210	4
	18:00~19:21	新庄一山形 (JR奥羽本線山形行)			
	宿泊	アパホテル山形駅前大通り 駅徒歩500m		4,900	8
11月8日		宿泊先-山形市役所議会塔 (山形市様送迎) 中村様		送迎	
	9:30~11:30	視察 山形市役所 (山形市立病院済生館)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	11:35~11:51	山形市役所一山形		送迎	
		昼食			
	13:04~15:48	山形一東京 (JR新幹線つばさ)	運賃 指定席	5,060	4
	16:11~16:34	東京一船橋 JR総武・成田線快速	運賃		
	宿泊	クロスウェーブ船橋		5,600	9
11月9日	9:02~9:13	船橋一医療センター (バス) 医療センター経由金杉台 団地 船32系統6番	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10
	9:30~11:30	視察 船橋市立医療センター	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
		医療センター (バス)	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10
		昼食			
	12:25~13:01	船橋一品川	運賃 指定席	6,480 4,630	4
	13:37~15:11	品川一名古屋			
	15:26~16:00	名鉄名古屋一半田	運賃	660	11
	16:30~16:45	半田一板山	運賃	360	12
			合計	60,149	

平成29年11月17日

政務活動費成果届出書

届出者 渡邊 昭司

○使途項目 (○をつける) **調査研究** 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

公立病院の経営形態の在り方について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

半田市立半田病院は、国の示す新公立病院改革ガイドラインに従い、現在地方公営企業法一部適応(一部適)から全部適応(全適)または地方独立行政法人(独法)への移行を示している。半田病院としてどのような経営形態が適当か判断するため、これまでに経営形態を移行または協議した病院を視察する。2つの病院を救急病院と療養病院に再編した病院、独法でなく、あえて全適へ移行した病院、全適で累積欠損がなく5年以上黒字経営の病院を視察する予定。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

○酒田市病院機構日本海総合病院(山形県酒田市)

☆目標は達成できた

一般病床642床、感染症4床、27診療科。平成20年4月に県立日本海病院と市立酒田病院が統合再編し、山形県酒田市病院機構とし、独法(非公務員型)に移行。

*4点の背景があり、統合再編・機能分担について議論される

- ①日本海病院の経営状況が悪い
- ②酒田市民病院の老朽化
- ③地域に救命救急センターがない
- ④医師不足

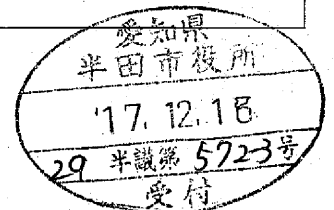
目的を達成した点(統合再編した時に何故、地方独立法人化へ移行したのか)→当時の日本海病院の病院長が総務省に相談へ行き、総務省の指導もあり地方独立法人化へ移行(当時の日本海病院長の強い指導力もあった)

*独法にして良かった点

- ①効率的な病院運営
- ②職員の意識改革(経営意識を持つ)
- ③独自の給与体系(特別ボーナスの支給)

*統合再編で機能分担が整理され、経営面、医師不足の問題も解消されている

確認欄	議長	管理委員長



○山形市立病院済生館（山形市）

☆目標は達成できた

一般病床528床、27診療科。平成26年4月に全適へ移行。

目的を達成した点（地方公営企業法の全部適用にした理由）→総務省の「公立病院改革プラン」の策定に応じて、経営形態の見直しを検討する

当時、済世館病院の経営は安定しており、市長判断で経営形態を「全部適用」へ移行することを決定（経営形態移行に伴う協議を始めたH22は独法化で成果が出ている病院がなく、躊躇した面もある）

H22年頃は公務員改革（定員削減）の時期であり、一部適用で医師・看護師を増やすと公務員の総数が増員してしまうことも、全適に移行した大きな要因になったようです

*全適にして良かった点

- ① 管理者（病院長）に権限（組織・予算・定数・給与・契約等）が移ることにより、運営面など様々な決定事項が迅速化された
- ② 職員の意識改革（経営意識を持つ）
- ③ 職員採用の独自化と迅速化（採用時期を早める、採用資格を病院で独自に決定）
- ④ 2千万円以上の様々な契約を病院で実施

○船橋市立医療センター（千葉県船橋市）

☆目標は達成できた

病床449床 平成21年4月に全適へ移行。

平成29年6月に自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞。

（受賞理由累積欠損金がなく、過去5年以上の経常利益を計上している。経営の健全性、経営努力の状況及び地域医療に果たしている役割を総合的に判断された。）

目的を達成した点（地方公営企業法の全部適用にした理由）→総務省の「公立病院改革プラン」の策定に応じて、経営形態の見直しを検討する☆山形市立済世館病院同様

病院経営を迅速に行えること、公務員としての身分保障を継続することなども必要と考え、経営形態を全部適用とした

H22年頃は公務員改革（定員削減）の時期であり、一部適用で医師・看護師を増やすと公務員の総数が増員してしまうことも、全適に移行した大きな要因になったようです

☆山形市済世館病院と同様

*全適にして良かった点

- ①管理者（病院長）に権限（組織・予算・定数・給与・契約等）が移ることにより、運営面など様々な決定事項が迅速化された
- ②職員の意識改革（経営意識を持つ）*毎月、管理職で医業収益等の会議を行い、経営意識の向上を図る

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

確認欄	議長	管理委員長

- ①経営形態について独法か全適か、早期に協議会の立上げる *どちらも利点が多い
- ②管理者の重要性(経営能力があり、知多半島医療圏・半田市民病院の事を熟知している人を選出する) *名大、総務省とも協議
- ③ 職員の身分保障をどう担保するのか 収益が出た時に職員へ給与として還元されるシステムを構築する
- ④ 市民に不安を与えないよう、不採算部門も継続して診療を行うこと

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

経営形態の移行は、全適の方が身分保障され、移行はし易い
全適・独法でも公共的な役割は担保できる、どちらの形態も経営責任と自立性の拡大が促される

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額(円)	領収書NO
11月7日	6:09~6:40	知多半田ー常滑駅 常滑駅ーセントレア	運賃	乗車なし	
	7:35~8:35	セントレアー新潟空港 (ANA1811)	運賃	15,210	1
	9:10~9:35	新潟空港ー新潟駅前 (高速連絡バス)	運賃	410	2
	10:58~13:05	新潟ー酒田 2番線 (JR特急いなほ)	運賃 指定席	3,020 2,050	3
	13:10~13:18	酒田ー日本海総合病院 タクシー 4.5km 13分	運賃	437 (1,750円÷4人)	4
	13:30~15:30	視察 酒田市病院機構 日本海総合病院(伊藤様)	手土産	540 (2,160円÷4人)	5
	15:30~15:38	日本海総合病院ー酒田 タクシー4.5km 13分	運賃	460 (1,840円÷4人)	6
	16:44~17:52	酒田ー新庄 (JR羽越本線) 新庄行	運賃	8,210	3
	18:00~19:21	新庄ー山形 (JR奥羽本線山形行)			
	宿泊	アパホテル山形駅前大通り 駅徒歩500m		4,900	7
11月8日		宿泊先・山形市役所議会塔 (山形市様送迎) 中村様		送迎	

確認欄	議長	管理委員長

	9:30~11:30	視察 山形市役所 (山形市立病院済生館)	手土産	540 (2,160円÷4人)	5
	11:35~11:51	山形市役所—山形		送迎	
		昼食			
	13:04~15:48	山形—東京 JR新幹線つばさ	運賃 指定席	5,060	3
	16:11~16:34	東京—船橋 JR総武・成田線快速	運賃		
	宿泊	クロスウェーブ船橋		5,600	8
11月9日	9:02~9:13	船橋—医療センター (バス) 医療センター経由金杉台 団地 船32系統6番	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	9
	9:30~11:30	視察 船橋市立医療センター	手土産	540 (2,160円÷4人)	5
		医療センター (バス)	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	9
		昼食			
	12:25~13:01	船橋—品川	運賃 指定席	6,480 4,630	3
	13:37~15:11	品川—名古屋 JR新幹線のぞみ37			
	15:26~16:00	名鉄名古屋—阿久比 阿久比—半田口	運賃	600	10
			合計	59,127	

平成29年11月16日

政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) **調査研究** 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

公立病院の経営形態の在り方について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

半田市立半田病院は、国の示す新公立病院改革ガイドラインに従い、現在地方公営企業法一部適応(一部適)から全部適応(全適)または地方独立行政法人(独法)への移行を示している。半田病院としてどのような経営形態が適当か判断するため、これまでに経営形態を移行または協議した病院を視察する。2つの病院を救急病院と療養病院に再編した病院、独法でなく、あえて全適へ移行した病院、全適で累積欠損がなく5年以上黒字経営の病院を視察する予定。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目標は達成でき、以下のことを学んだ

○酒田市病院機構日本海総合病院(山形県酒田市)

一般病床642床、感染症4床、27診療科。平成20年4月に酒田医療センターと再編し山形県酒田市病院機構とし、独法(非公務員型)に移行。

○山形市立病院済生館(山形市)

一般病床528床、27診療科。平成26年4月に全適へ移行。

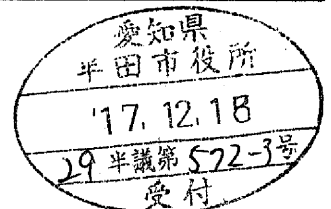
○船橋市立医療センター(千葉県船橋市)

病床449床 平成21年4月に全適へ移行。

平成29年6月に自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞。

(受賞理由累積欠損金がなく、過去5年以上の経常利益を計上している。経営の健全性、経営努力の状況及び地域医療に果たしている役割を総合的に判断された。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・市長部局より、「あり方検討委員会」を早急に立上げ、全適・独法・委託の経営形態を速やかに決定する。
- ・「病院事業管理者」を市長が任命し、管理者が経営管理をしっかりとる。
- ・病院の理解者、支持者を多くつくるために、市民・市関係者・市議会等に現況説明の場を設ける。
- ・病院管理者のスタッフミーティングで、情報共有し現況の病院経営状況を把握する。
- ・三次救命救急センターであるため、ACU（大動脈専門治療室）病床（4対1看護配置基準）、SCU（脳卒中ケアユニット）病床（3対1看護配置基準）を増設して緊急医療体制の強化を図る。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・現在、当市は大きな変化に富んだ時期である、新病院建設のための基礎調査を開始するためにも早急に行政決断が必要である。

○実 績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時 間	内 容		金額 (円)	領収書 NO
11月7日	6:02~6:40	西成岩ー常滑駅 常滑駅ーセントレア	運賃	690	1
	7:35~8:35	セントレアー新潟空港 (ANA1811)	運賃	15,210	2
	9:10~9:35	新潟空港ー新潟駅前 (高速連絡バス)	運賃	410	3
	10:58~13:05	新潟ー酒田 2番線 (JR特急いなほ)	運賃 指定席	3,020 2,050	4
	13:10~13:18	酒田ー日本海総合病院 タクシー 4.5km 13分	運賃	437 (1,750円÷4人)	5
	13:30~15:30	視察 酒田市病院機構 日本海総合病院 (伊藤様)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	15:30~15:38	日本海総合病院ー酒田 タクシー4.5km 13分	運賃	460 (1,840円÷4人)	7
	16:44~17:52	酒田ー新庄 (JR羽越本線) 新庄行	運賃	8,210	4
	18:00~19:21	新庄ー山形 (JR奥羽本線山形行)			

確 認 欄	議 長	管理委員長

	宿泊	アパホテル山形駅前大通り 駅徒歩 500m		4,900	8
11月8日		宿泊先-山形市役所議会塔 (山形市様送迎) 中村様		送迎	
	9:30~11:30	視察 山形市役所 (山形市立病院済生館)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	11:35~11:51	山形市役所—山形		送迎	
		昼食			
	13:04~15:48	山形—東京 (JR新幹線つばさ)	運賃 指定席	5,060	4
	16:11~16:34	東京—船橋 JR総武・成田線快速	運賃		
	宿泊	クロスウェーブ船橋		5,600	9
11月9日	9:02~9:13	船橋—医療センター (バス) 医療センター経由金杉台 団地 船32系統6番	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10
	9:30~11:30	視察 船橋市立医療センター	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
		医療センター (バス)	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10
		昼食			
	12:25~13:01	船橋—品川	運賃 指定席	6,480	4
	13:37~15:11	品川—名古屋 (のぞみ37)		4,630	
	15:26~16:02	名鉄名古屋—成岩	運賃	660	11
			合計	59,877	

平成29年11月14日

政務活動費成果届出書

届出者 新美保博

○使途項目 (○をつける) **調査研究** 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

公立病院の経営形態の在り方について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

半田市立半田病院は、国の示す新公立病院改革ガイドラインに従い、現在地方公営企業法一部適応(一部適)から全部適応(全適)または地方独立行政法人(独法)への移行を示している。半田病院としてどのような経営形態が適当か判断するため、これまでに経営形態を移行または協議した病院を視察する。2つの病院を救急病院と療養病院に再編した病院、独法でなく、あえて全適へ移行した病院、全適で累積欠損がなく5年以上黒字経営の病院を視察する予定。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

○酒田市病院機構日本海総合病院(山形県酒田市)

一般病床642床、感染症4床、27診療科。平成20年4月に酒田医療センターと再編し山形県酒田市病院機構とし、独法(非公務員型)に移行。

○山形市立病院済生館(山形市)

一般病床528床、27診療科。平成26年4月に全適へ移行。

○船橋市立医療センター(千葉県船橋市)

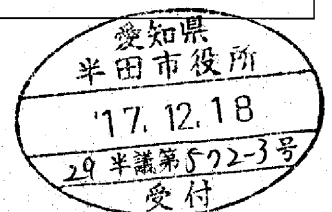
病床449床 平成21年4月に全適へ移行。

平成29年6月に自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞。

(受賞理由累積欠損金がなく、過去5年以上の経常利益を計上している。経営の健全性、経営努力の状況及び地域医療に果たしている役割を総合的に判断された。)

◎ 目的を達成することができました。加えて、酒田市の日本海総合病院では理事長の栗谷氏、山形市立病院済生館では平川管理者(説明員であった松浦次長)、船橋市立医療センターでは鈴木管理者、前院長高原、現院長丸山氏と各々対応して頂き、これまでの経緯や良好な病院運営への一助となる熱い話を拝聴し、やはり『ひとつづくり』の大切さを改めて感じてきました。特に指導者的立場にある人の、時には独断専行とも捉えがちにはなろうかと思われることとしても、リーダーシップと持続する信念が在れば為せることを改めて感じた。

確認欄	議長	管理委員長



○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

どちらの運営形態であっても名称(繰入金・交付金)こそ違いますが予算は算出されることを考えれば、全適であれ、独法であれ、新病院の建設に合わせるスケジュールよりも、まずは医療経営の判る事業管理者の選任を進めるべきである。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank area for additional comments or special items.

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

月 日	時 間	内 容		金額 (円)	領収書 NO
11月7日	6:09~6:40	知多半田ー常滑駅 常滑駅ーセントレア	運賃	770	1
	7:35~8:35	セントレアー新潟空港 (ANA1811)	運賃	15,210	2
	9:10~9:35	新潟空港ー新潟駅前 (高速連絡バス)	運賃	410	3
	10:58~13:05	新潟ー酒田 2番線 (JR特急いなほ)	運賃 指定席	3,020 2,050	4
	13:10~13:18	酒田ー日本海総合病院 タクシー 4.5km 13分	運賃	437 (1,750円÷4人)	5
	13:30~15:30	視察 酒田市病院機構 日本海総合病院 (伊藤様)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	15:30~15:38	日本海総合病院ー酒田 タクシー4.5km 13分	運賃	460 (1,840円÷4人)	7
	16:44~17:52	酒田ー新庄 (JR羽越本線) 新庄行	運賃	8,210	4
	18:00~19:21	新庄ー山形 (JR奥羽本線山形行)			
	宿泊	アパホテル山形駅前大通り 駅徒歩 500m		4,900	8
11月8日		宿泊先・山形市役所議会塔 (山形市様送迎) 中村様		送迎	
	9:30~11:30	視察 山形市役所 (山形市立病院済生館)	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
	11:35~11:51	山形市役所ー山形		送迎	
		昼食			
	13:04~15:48	山形ー東京 (JR新幹線つばさ)	運賃 指定席	5,060	4
	16:11~16:34	東京ー船橋 JR総武・成田線快速	運賃		
	宿泊	クロスウェーブ船橋		5,600	9
11月9日	9:02~9:13	船橋ー医療センター (バス) 医療センター経由金杉台 団地 船32系統6番	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10

	9:30~11:30	視察 船橋市立医療センター	手土産	540 (2,160円÷4人)	6
		医療センター(バス)	運賃	220 (1,760円÷4人 往復)	10
		昼食			
	12:25~13:01	船橋一品川	運賃	6,480	4
	13:37~15:11	品川一名古屋	指定席	4,630	
	15:17~16:04	名古屋一乙川(JR武豊 線)	運賃	320	11
			合計	59617	